

# 選挙に行かなければ、政治は私たちの方を向いてくれない

## ～膨大な借金を背負わされた私たち～



参議院議員会館で挨拶をする  
柳沢みつよし参議院議員

上新電機の皆さんは身内のようなもので、渡辺委員長はじめとして長い付き合いをさせてもらっています。今回はわざわざお越しいただき嬉しく思っています。また研修会などありましたらぜひ呼んで下さい。

本当は去年、解散総選挙が行われているはずでしたが、ズルズルと引き延ばしにあっていきます。様々な場面で「いつ選挙ですが？」と訊かれますが全く分かりません。去年は「必ずこの時期にある」と何度も言ったのですが嘘のつきっぱなしです(笑)。ですから年が明けてからは一切お答えしないようにしています(笑)。それくらい分かりません。ただ、9月には任期満了になるので年内には必ずあるわけです。

2005年の総選挙は、小泉さんは郵政改革を参議院で否決されて衆議院を解散しました。それくらい首相は解散権という大きな力、武器を持っています。麻生さんという人は財閥のお坊ちゃまで、初めての選挙で「下々の皆さま！」

と挨拶した人ですから、僕らの感覚とは全然違います。自民党も「この人が破れかぶれになったらどうしよう」と戦々恐々としている。それくらい分からないのです。

今、4年半国会議員をやってきて一番頭にきているのは、「ムダにしません、汗と税」という私のキャッチフレーズと全く違う事が起こっていることです。正社員の失業者が溢れ始めました。中小企業が次々に倒産に追い込まれる。真面目に働く人が酷い目に遭っています。

日本の借金は増える一方です。もともと税収50兆円に30兆円借りてきて、80兆円の国家予算を組んでいて、800兆円を超える借金の未払いがあります。なのに更に15兆円の補正予算を組むということは、サラ金地獄に陥っているようなものです。ハッキリ言います。そのツケは全部皆さんにまわってきます。皆さんの子供の代になっても返せない。毎年10兆円返しても100年かかります。年金も医療も介護も破綻するでしょう。なんでこんな事になってしまったのでしょうか。

小泉さんは郵政改革で解散し、国民の審判を受けました。けど、これ以上やったらボロが出るので安倍さんに譲った。安倍さんは1年で「お腹痛い」と言って辞めちゃった。自公政権を繋ぐために福田さんが登場したけど、選挙の機運が高まったら「私では勝てない」と麻生さんに譲った。麻生さんは解散総選挙のために総理になつたのに、1日でも長くやりたくてここまで引き延ばした。この3人は皆さんが選んだ総理

ではありません。自民党が選んだ総理です。

官僚が毎年替わる総理の言うことを聴くわけがありません。大臣はもつと頻繁に替わります。だから、肝心なこと、都合の悪いことは全部隠してしまう。その膿を出すには政権交代しかないのです。一昨年、参議院選挙で民主党が勝つた。それだけで年金の6.4兆円の無駄使い。天下りや埋蔵金の問題などが表に出ました。もし、衆議院が動いたらどう変わるか。皆さんか考えてみて下さい。

前回の参議院選挙は投票率が8%上がっただけで逆転しました。でも実態は年金問題で怒った60歳以上の方の70%以上は投票に行きませんが、20代は30%前半、30代は30%半ばです。だから今の日本の政治は全部お年寄りの方を向いています。高齢化も大事ですが少子化はもっと切実です。なのに若い皆さんの方に全然政策もお金もまわってこない。今度の衆議院選挙には徹底的に投票に行ってください。全国をその事をお願いして歩いていきます。一回変えてみませんか。まだ隠れている様々な問題を一回表に出してみる。そこから新しい日本のあり方を考え直す必要があります。

その勢いで来年の私の選挙では「やなぎさわみつよし」というややこしい名前を、投票用紙にちゃんと書いてもらいたいと思います。今日は本当にありがとうございました。(抜粋)